八坂神社祭典（お天王さん）

初夏を彩る区内の一大イベントである八坂神社の祭典は、残念ながら昨年に引き続き新型コロナウイルスの影響で御神輿渡御は中止となり、神事のみ7月10日に行いました。祭の元となっている京都祇園祭りも、山鉾巡行、神輿渡御などのイベントは中止となっています。本来疫病終息祈願で始められた祭典で、今回の新型コロナウイルスの終息祈願も神輿渡御などにより、盛大に行いたかったところです。来年には区民の安心・安全・安寧の拠り所として復活させていきたいところです。そんな思いも込めまして、以下に八坂神社の祭典の歴史について記載してみました。

【祭典の概要】

祭典は、初日の遷座祭に始まり、最終日の神輿による区内練り歩き（御神輿渡御）まで一週間にわたり行われます。当番組、神輿担ぎ手、休憩所や交通整理の方々など、多数の人々の協力と尽力により盛大に行われます。

【主なイベント】

◎遷座祭　ご神体を本殿（日枝神社内の七社）から仮の場所（神輿）に移す神事。

◎お涼み　神様の夕涼み、厄除安全、無病息災などを祈願する神事で、毎夜しゃぎり保存会などによる、しゃぎり演奏が行われます。

◎神輿づくり　最終日にご神体を神輿に仕込み、神輿を作り上げる作業で、当番組や関係者により朝から昼過ぎまでかけて行います。経験者により伝統が守り伝えられる重要な作業。

◎神輿による区内練り歩き　最終日の夕方から厄除け、無病息災などを祈願して区内を練り歩きます。練り歩く距離は約8㎞にもなります。ご祝儀を頂くと、頂いたいた方の家の前で、威勢の良い掛け声とともに迫力ある厄除け祈願の練りを披露します。

（栗）

縄を編み込んで神輿を仕上げていきます

八坂神社の祭典の歴史

八坂神社の名称は、1868年（慶応4年）の神仏分離令により八坂神社と改称されたもので、元は祇園社と呼ばれていました。祇園祭は、この祇園社から始まっており、柏谷では八坂神社の祭典として祭事が行われています。守護神は、スサノオノミコトで天照大神（アマテラスオオミカミ）の弟神です。その荒々しさから疫病を流行せしめる神であり、それを慰め和らげるために、祇園の祭祀が行われるようになったと歴史にあります。以後スサノオノミコトは厄除けの神として祀られています。

一方、八坂神社の祭典は、お天王さんとも呼ばれて親しまれています。お天王さんとは、牛頭天王（ゴズテンノウ）の天王から由来する名称です。牛頭天王とは、お釈迦様が悟りを開いたインドの土地（祇園精舎）の守り神であると歴史書にあります。つまり、神仏習合時代には、スサノオノミコトと牛頭天王を神仏習合の守り神として、民衆が祀ってきたもので、八坂の祭典はお天王さんとも呼ばれてきました。牛頭天王も荒神で疫病を流行らす神であったため、スサノオノミコトと習合したと言われています。

（習合：スサノオノミコトと牛頭天王が同一視された。）

令和元年の祭典における御神輿渡御当日の出発前の神事

【柏谷区協議委員・委員の紹介】

柏谷区は、今年度１２名の協議委員と８名の委員で活動しています。区役員は、地域の自治活動、諸行事の開催等に重要な役割を担っていますが、区役員の選任には毎年大変苦労しています。区民の皆様からの幅広い推薦・支援をお願い致します。

協議委員等名称	氏　名	組	役　割　な　ど
協議委員長	奥田　英裕	38	協議委員全体のまとめ役及び次期三役選考を担当します。前年度の区長が担当します。
防災委員長	田辺　秀範	4	防災組織の設置、防災訓練、自衛消防隊のまとめ役など地域の防災に関わる運営を担当します。
土木委員長	曽我　浩一	2	区内の道路や側溝の改修など、土木に関する環境改善を担当します。
体育委員長 体育委員 体育委員	後藤　真 松本　朋也 渡邉　杏奈	5 40 12	ソフトボール大会、区民体育大会を担当します。ここ2年は残念ながら全くイベントが出来ませんでしたが、来年にはスポーツ大会の内容検討を含めて再開できることを願います。今年度は女性の委員を選任させて頂きました。
消防委員長 兼祭典副委員長	須藤　利也	43	区内の消防に関する設備の整備を担当します。また、消防団との連携(現場の交通整理など、消防活動を円滑に行うための後方支援)により、有事の際の対応力強化を図ります。今年度は、経験豊富な祭典の副委員長も兼務して頂きます。
公民館管理委員長	青木　綱雄	22	公民館・コミュニティ会館の維持管理を担当します。また、白雲庵法要を担当します。今年はインターネット環境を導入し、区民への情報発信も行います。
祭典委員長 祭典委員 祭典委員 祭典委員	岩谷　智正 宮内　孝文 野田　旬哉 中川　孝昭	21 55 1 39	祭典の準備、神事の実行を担当します。区内の祭典行事は沢山あり、一年を通して一番多忙な役割です。祭典については、各当番組にも毎年サポートをして頂いています。今年は盛大な祭典行事が出来ませんが、来年には復活できることを願います。
教育婦青委員長	内田　賢志	1	組長会主催の納涼祭の準備、運営の補佐、中学生ボランティアの受け入れ窓口を担当します。また、区外の仕事として、青少年健全育成会に所属し、あいさつ運動や非行防止を目的とした町内パトロール等を行い、子供たちを見守っています。
施設営繕委員長	松下　典晃	10	区内の生活環境向上のための施設修理（街灯修理など）を担当します。区内放送設備の維持管理を担当します。
衛生委員長 衛生委員 衛生委員	内田栄一郎 市川　武久 遠藤久美子	2 20 12	各ごみステーションの管理運営、ごみゼロ運動や流川清掃など区内の環境美化活動を担当します。不法投棄には大変苦労しており、皆さんの協力が大事です。今年度は女性の委員を選任させて頂きました。
交通安全委員長 交通安全委員	内田　和宏 平野　正悟	4 56	区内の交通施設（カーブ―ミラーなど）の設置改善、交通安全指導を担当します。
庶務委員長	竹村聖一郎	4	組長・協議委員定例会資料作成、三役・協議委員会などの準備運営を担当します。各イベントの活動記録などを担当します。

白雲庵法要

白雲庵の法要が7月23日（金）、柏谷公民館の和室にて行われました。恒例の子供相撲は残念ながら今年も中止となりました。

白雲庵は愛宕大権現と称えられる石彫りの地蔵尊が本尊です。

安政二年（西暦1855年）、この地に天然痘が流行し、子供も多数犠牲になりました。そして、それを機に子供の健康を祈念し、子供相撲が始まったと、公民館の玄関脇に建つ縁起札に記されています。

柏谷区ごみゼロ運動

5月30日（日）、柏谷区ごみゼロ運動が実施され、柏谷区内においても多くの組、区民の方が、コロナ対策をしながら、清掃、草刈などの環境美化活動に汗を流しました。みなさん、お疲れさまでした。